

はじめに

市民一人ひとりが食を通じて幸せになれるまち

「食」は、生きていくうえで最も欠かすことのできないものの一つであり、健全な食習慣を身につけ、家族や友人と共に楽しく食事することは、健康な体や豊かな心を育むとともに人々に幸せをもたらします。

しかしながら、近年では、ライフスタイルの多様化や核家族の増加などにより、食生活の乱れや孤食の増加、伝統的な食文化の喪失、食の安全性や食品ロスなど、食に関する様々な課題に直面しています。また、SDGsの達成には食に関する課題への取組みが求められています。

西尾市では平成29年3月に「第3次西尾市食育推進計画」を策定し、市民一人ひとりが健全な食生活を身につけ、生き生きと暮らせるように、家庭をスタートとし、地域、学校、職場などあらゆる場面に食育を広げ、人と人とのつながりを大切にしながら食育を推進してきました。

また、西尾市は、豊富な地域食材を有したまちで、おいしい食べ物がたくさんあります。抹茶やウナギは全国有数の生産量を誇り、地域ブランドとして確立されているほか、米・麦のほか豚肉、イチゴやキュウリなどの農畜産物が生産され、のり、アサリをはじめとする多種にわたる魚介類が水揚げされるなど、これらを活かした西尾市ならではの食育を実施してきました。

この度、前計画が終了することから、さらなる食育を推進していくために、「第4次西尾市食育推進計画」を策定しました。市民の皆さんが食を通じて幸せになれるまち、「住んでよかった」「住み続けたい」と思えるまち、夢や希望の持てるワクワクするまちをめざし、さらなる食育の推進に取り組んでいきます。



令和4年3月 西尾市長 中村 健